

嘉手納基地所属米空軍兵による住居侵入事件に対する抗議決議

沖縄防衛局によると、本年３月１５日午前７時１６分頃、正当な理由もなく本町宮城の民家に侵入したとして、米軍嘉手納基地所属の大尉が同日午前８時５５分、住居侵入容疑で緊急逮捕される事件が発生した。同容疑者の呼気からはアルコールが検出されている。

本町議会では、同様な事件が起きるたびに関係機関に再三再四、抗議及び要請してきたにもかかわらず、同様な事件が繰り返されることに對し強い憤りを禁じえない。在日米軍は昨年１０月にリバティー制度を強化したにもかかわらず、県内においては米兵による飲酒絡みの事件や事故が後を絶たない。

沖縄に米軍基地が集中するが故の事件であり、日米両政府が繰り返す「綱紀肅正」「再発防止」「教育の徹底」という言葉は、根本的な解決に繋がらず、極めて遺憾である。

よって、本町議会は、町民の生命、財産、安全を守る立場から関係機関に對し、厳重に抗議するとともに、下記事項について強く要求する。

記

- １ 事件の原因究明とその結果を速やかに公表すること。
- ２ リバティー制度を遵守すること。
- ３ 米軍人・軍属等による事件・事故防止のための協力ワーキングチームを早急に開催し、事件の再発防止と具体的な解決策を日米両政府で早期作成、公表すること。
- ４ 日米地位協定の抜本的な改定を早急に行うこと。
- ５ 全ての在沖米軍基地を整理縮小し、段階的に撤去すること。

以上、決議する。

令和７年３月２７日

沖縄県中頭郡北谷町議会議長 仲地 泰夫

あて先

米国国防長官	米国国務長官	駐日米国大使	米インド太平洋軍司令官
在日米軍司令官	在沖米四軍沖縄地域調整官	嘉手納基地第１８航空団司令官	
在沖米国総領事			